

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	身体拘束・虐待の防止について、職員一人一人の認識がたりませんでした。	全職員が身体拘束に対する認識を高めて、身体拘束・虐待(グレー部分も含め)を「0」を目標とします。	ユニット会議→けがなし委員会→拘束委員会と検討を行って、話し合いは、記録に残すように徹底します。	12ヶ月
2	23	入居者様に対する声かけが、強い口調(指示のような)になっている。職員もなれ合いになり、職員都合になっている所がある。	入居者様の思いを汲み取り、寄り添う支援を行いたい。	否定的な声掛けはやめる。本人の気持ちを汲み取り対応するようにします。	12ヶ月
3	35	夜間時想定避難訓練を行っていなかった。災害時の持ち出しの名簿を把握出来ていなかった。	夜間想定避難訓練を行い、夜間時の避難について理解したい。災害時の持ち出し名簿の全員把握。	ユニット会議にて、名簿の説明を行い、周知徹底する。夜間時の避難訓練を行います。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。